

清水高原の冬は寒いので冬眠状態を保っていましたが、久しぶりに寒さが緩みちょっと出かけて見る気になりました。

洗馬を通過し、本山を過ぎ、これより木曽路の看板を見て、両側の山がせまる谷合いの国道に入りました。

中山道は69の宿場、そのうち木曽路には11があり、塩尻・洗馬・本山・贅川(関所)・と過ぎ奈良井宿に到着しました。夏などは人が多く、車もかなり遠くの駐車場になってしまうので、いつも通過していましたが、今日は、立ち寄りました。

町並みは、1Km近くが残っており、歩くだけで江戸時代に行った気がした。休みの店もありましたが、漆器・酒・民芸など見て廻りました。なおどの店にも「御岳百草丸」が置いてあったことが印象深かった。



<奈良井宿>

奈良井から、少し南にいくと、伊那に抜ける道がある。ダムの脇の道を通って国道361号線と合流し、中央アルプスに向かって行くと、いくつかの短いトンネルを過ぎ、4467mの表示の長いトンネルに入った。ここが2006年に開通した「権兵衛トンネル」、昔小説で知った峠であったが、開通のニュースを聞いてから、通るのは4回目になる。

権兵衛トンネルは既に下っており、少し下ると伊那の農地に出了た。伊那の市街には行かずに左に曲がり山麓線を走り、「みはらしファーム」に食事をしに立ち寄りました。

清水高原を出たのが、10時、奈良井宿を出たのが12時、伊那



のみはらしファームにちたのが12時半でした。晴れていれば千丈が岳(3033m)が見えるロケーションであるが山の上には雲がかかって見えなかった。

昼食を終え、帰路についた。辰野から善知鳥峠を越えていこうと思い一番山添いの道、県道203号線を走っていたら、「伊那アルプス美術館」の看板を見つけて立ち寄りました。休館中(開館は3月21日~11月30日)とのことでしたが運よく画家さんがおられて見せて貰えました。垣内カツアキさんの絵中心に数多くの作品があり、生活感のある山の絵は明るく力強く感じる作品であった、機会あれば、もう一度行きたいと思いました。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

古稀・画道50年記念
垣内カツアキ 近作画集

——— シリーズ日本の風景を讀う・信州の山と湖 ———

